

図書館 NEWS 2016・2月号

発行：天城中・高図書委員（1年4・5組 渡辺・大谷・三上・安川）

2月 図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
31	1	2	3	4	5	6
	◎	○	◎	○	◎	
7	8	9	10	11	12	13
	◎	○	◎	×	◎	
14	15	16	17	18	19	20
	○	×	×	○	○	
21	22	23	24	25	26	27
	○	○	○	○	○	
28	29	1	2	3	4	5
	○	○	◎	○	◎	

みなさんこんにちは！

2月14日はバレンタインですね！

今年こそは手作りにチャレンジしてみたいと思っているそのアナタ！

今号はそんなあなたにおススメの本を集めたバレンタイン特集です。

×…閉館日 ○…開館日 ☆…図書館開放日

◎…開館延長日(17:45 まで) △…昼と放課後のみ

読書のすすめ 「サブカル出身なもので…後編」 村木 須代(高校1年・国語)

12月号の続きです。→

村上春樹の話をして自分の話をするなどおこがましいと言われるだろうが、落差があるから気にとめないことにする。年を取ると昔のことをよく思い出す。そういえば母の職場の二十代男性が漫画コレクターで、小学生の私に漫画を山ほど次々貸してくれていた。横山光輝『三国志』全 60 巻も『火の鳥』も『あしたのジョー』も借りて何度も読んだものである。少女漫画は守備範囲でなかったようなので、そちらは自分で買って読んだ。萩尾望都からブラッドベリを教えてもらったように、当時の少女漫画は外国文学に通じていた。

折口信夫に戻ろう。

大塚英志という折口信夫の孫弟子に当たる民俗学者がいる。彼は他にも雑誌の編集から文芸評論、おたく関連の評論、多数の漫画の原作者として多方面で活躍している。彼の書く文章は個人的には何を読んでも面白く、腑に落ちるものばかりである。その彼が書いた『木島日記』という折口信夫を騙る古書店主を主人公にした小説がある。国語教員として薦めるべき本であるかは疑念がよぎるが、釈迦空（折口信夫）を扱ったのだから仕方がない。

しかし、『姑獲鳥の夏』と言い、『ビブリア古書堂の事件手帖』と言い、古書店主が謎解きっていうのはもはや古典的なんだろうなあ。

了



バレンタイン特集



『おいしいお菓子の教科書』

著：柳瀬久美子

お菓子作りに必要な材料や基本的な材料、量りかたの説明などがこの本では説明されています。定番のクッキーやマドレーヌだけでなくケーキ、モンブランなどの変わり種も載っています。

今年のバレンタインは手作りしようと思っているそこのアナタ！この本さえあれば上手にできるかも？

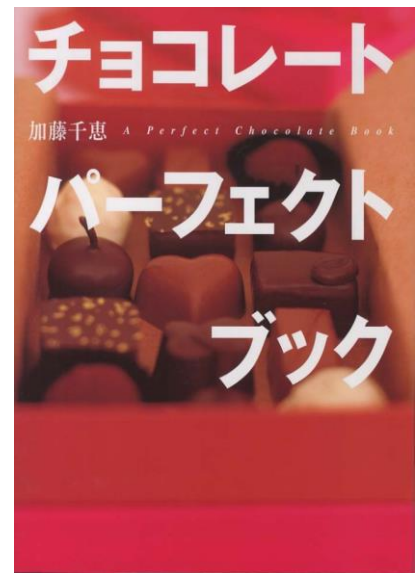
『チョコレートパーフェクトブック』

著：加藤千恵

この本には様々なチョコレートの作り方が丁寧に詳しくのっています。

本格的なアレンジがのっていて、お店で売られているようなチョコレートを作れます。

今年のバレンタインはいつものチョコレートと一味違うものを作ってみては？



『植物図鑑』

著：有川浩

普通のOL、さやか。飲み会から帰っていると、マンションの前にイケメンが行き倒れていた。イツキと名乗るその青年とさやかは同居し始める。イツキは植物の知識が豊富で、さやかに草花のことを教えてくれた。

関係を深めていった二人だが、ある日イツキが蒸発した。悲しみに暮れるさやかの元に一冊の植物図鑑が届き、イツキと再会を果たす。もうすぐ映画化する話題作です。劇場に行く前に一度読んでみては？





部長さんにインタビュー in 吹奏楽部

今回はいつも綺麗な音色でなごませてくれる、吹奏楽部の部長さんにお話をうかがいました。

バレンタイン特集ということで、お菓子にまつわるお話を聞いてきましたよ(^^♪

Q：好きなお菓子の種類はなんですか？

A：黒糖まんじゅうです。

Q：好きなラブソングはなんですか？

A：宇多田ヒカルさんの「This is love」です。

Q：吹奏楽部の魅力を教えてください

A：色々な個性が集まって、一つの曲を奏でるところです。

中高合わせて 70 人近くいる上に、良くも悪くも個性的なメンツが多いので、余計に楽しいところです。

Q：それでは、最後に一言お願いします

A：今回も皆様の応援のおかげで、定期演奏会を開催できることになりました。

4月17日(日)に倉敷市民会館で行います。チケットのお求めはお近くの吹奏楽部員まで！

インタビューへのご協力ありがとうございました(*^_^*)

最後に、おすすめの本を一冊紹介してもらいました。

この本は本校図書館にもあります。

興味がある人はぜひ読んでみてください！

『新選組 幕末の青嵐』

著：木内昇

(集英社文庫)



本の紹介

天城中学校図書委員会

～3A藤川・3B智羽～

二月のイベントと言えば、そう！バレンタインですね。今月は甘い恋、きりっと苦いミステリー、はたまたガンダム？まで「バレンタイン」に似合う本を紹介します。

チョコレートを食べながらゆったり読んでみてはいかがですか？



『GOSICK RED』 桜庭 一樹

1931年ニューヨーク。禁酒法下の退廃が人々を闇へと誘うなか、私立探偵、ヴィクトリカと見習い新聞記者の一弥は、曲がりなりにも平穏な日々を送っていたはずだった。——奇妙な連続殺人事件に出くわすまでは。場所も犯行手口も犯人像も全く異なる連続殺人事件を追うヴィクトリカと、カウンセリングなどで著名な精神分析医を取材する一弥。彼らが追い求める、一見関係ないような二つの事件。それが一つに集結するとき、『奇妙な事件』は『恐るべき陰謀』へと変貌する——!?

直木賞作家 桜庭 一樹がおくる、奇蹟のミステリーシリーズ『GOSICK』の新作！ヴィクトリカと一弥の恋の行方も見逃せない！甘いお菓子とピターな謎を楽しめる、おすすめの一冊です。

『機動戦士ガンダムSEED』 後藤リウ

遺伝子操作を受けた人類と従来の人類の戦争の中で地球連合の最新鋭機に乗ってしまい、戦争に巻き込まれてしまった少年キラ・ヤマトの物語。従来ガンダム作品と違い、濃密な人間ドラマが描かれているのもこの作品の魅力です。この戦争のきっかけになる事件が「血のバレンタイン」と呼ばれています。原作はアニメですが、未視聴の方でも楽しめる作品です。ぜひ読んでみてください！

